

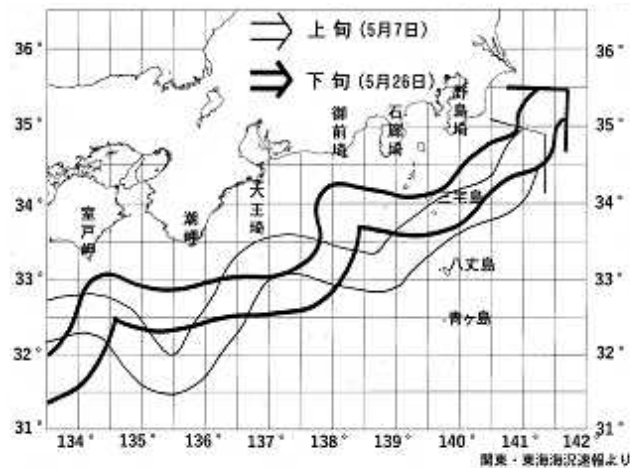
漁海況月報

令和7年5月1日

No. 5 ～5月31日

静岡県水産・海洋技術研究所
(電話 054-627-1815)

静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



5月定地水温の旬平均値 (°C) (下段は平年値*からの偏差)

期 間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	17.2	17.4	17.5	17.1	18.5	18.0
	0.1	0.3	0.5	-0.9	-0.1	0.0
中旬	18.1	17.3	17.1	18.3	19.2	18.3
	0.1	-0.6	-0.7	-0.6	0.1	-0.4
下旬	18.4	18.8	18.8	20.2	20.9	19.9
	-0.6	-0.2	0.0	0.6	0.9	0.2
月	18.0	17.9	17.9	18.7	19.6	18.8
	-0.1	-0.1	0.0	-0.2	0.4	0.0

*平年値：過去30年（平成3年～令和2年）の平均値

【黒潮流路】

5月を通じてN型で、小さくW字を描きながら北上し、三宅島を通過する流路となった。

上旬は潮岬沖で離岸し、潮岬沖31.5°N付近から大王崎沖33.5°N付近まで北上した後、三宅島を通過して北東に流去した。暖水波及が大王崎沖の黒潮屈曲部から遠州灘に向けて見られた。

中旬は潮岬沖で離岸し、潮岬沖32.5°N付近から御前崎沖34.0°N付近まで北上した後、八丈島を通過して北東に流去した。暖水波及が御前崎沖の黒潮屈曲部から熊野灘、遠州灘、石廊崎沖に向けて見られた。

下旬は室戸岬沖33.0°Nまで接岸した後東進し、遠州灘沖33.0°から御前崎沖34.0°付近まで接岸した。その後、三宅島を通過して北東に流去した。暖水波及が大島西水道から石廊崎沖にかけて見られた。

【沿岸域水温】

上旬は伊東、稲取、沼津、焼津で「平年並」、雲見で「やや低め」、下田で「やや高め」であった。中旬は伊東、沼津、焼津で「平年並」、稲取、下田、雲見で「やや低め」であった。下旬は稲取、下田、焼津で「平年並」、伊東で「やや低め」、雲見、沼津で「やや高め」であった。

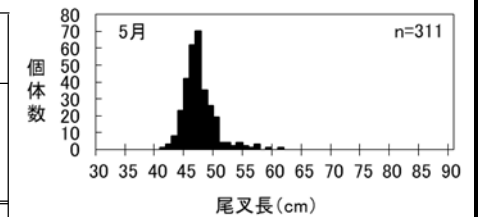
【竿釣カツオ】

5月の県内主要5港（沼津、清水、焼津、小川、御前崎）における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げは55.1トンで前年同月(105.0トン)の52%であった。平均単価は575円/kgで前年同月(383円/kg)を上回った。

漁場は33-34°N、137-139°Eの伊豆諸島北部海域や金洲などで、5月9日に御前崎港で実施した市場調査では、熊野灘において漁獲されたカツオの尾叉長組成は小(尾叉長47cm)が主体であった。

竿釣り（近海＋沿岸船）カツオ水揚量（県内主要5港）

期 間	水揚量 (トン)	水揚 隻数	平均水揚量/隻 (トン)	平均単価 (円/kg)
R7年5月上旬	30.0	6	5.0	589
中旬	7.8	2	3.9	336
下旬	17.3	9	1.9	659
R7年5月計	55.1	17	3.2	575
R6年5月計	105.0	31	3.4	383
R5年5月計	155.2	37	4.2	472



御前崎港で測定したカツオの
尾叉長組成

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統（伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津）の水揚量は569.6トンで、前年(433.5トン)の1.3倍、平年(468.4トン)の1.2倍であった。また、1か統当たりの水揚量は81.4トン（前年：61.9トン、平年：66.9トン）であった。水揚量の多い漁場は、北川漁場(146.5トン、マルソウダ、さば類、マアジ)、次いで古網漁場(142.3トン、マルソウダ、マアジ、マイワシ)であった。

多獲された魚種の水揚量は次頁(表)のとおりで、マルソウダは282.4トン、前年比1.8倍、平年比5.6倍であった。マアジは91.5トン、前年比70%、平年比96%であった。さば類は75.6トン、前年比2.2倍、平年比58%であった。水揚げされたさば類のうち、マサバは8.6トン、前年比1.8倍、平年比30%、ゴマサバは67.0トン、前年比2.3倍、平年比60%、さばっこ(小型当歳魚銘柄)は27.3トン、前年比6.4倍、平年比2.9倍であった。ブリは30.1トン、前年比50%、平年比1.1倍で、銘柄わらさ主体であった。ヒラソウダは13.9トン、前年比624.9倍、平年比12.2倍であった。

多獲された魚種の主な漁場は、次頁(表)のとおりで、各漁場の水揚量の割合は、マルソウダでは北川漁場が39%(109.4トン)、古網漁場が27%(75.9トン)、マアジでは古網漁場が36%(32.8トン)、川奈漁場が24%(21.8トン)、伊豆山漁場が17%(16.0トン)、さば類では北川漁場が25%(18.9トン)、赤沢漁場が25%(18.7トン)、川奈漁場が17%(12.8トン)、ブリでは川奈漁場が58%(17.5トン)、富戸漁場が19%(5.7トン)、北川漁場が15%(4.4トン)、ヒラソウダでは伊豆山漁場が100%(13.9トン)であった。

*平年：昭和57年～令和6年の平均値

多獲された魚種の水揚量と主な漁場				
魚 種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
マルソウダ	282.4	1.82	5.58	北川、古網
マアジ	91.5	0.70	0.96	古網、川奈、伊豆山
さば類	75.6	2.23	0.58	北川、赤沢、川奈
ブリ	30.1	0.50	1.05	川奈、富戸、北川
ヒラソウダ	13.9	624.93	12.18	伊豆山

【サバたもすくい・棒受網】

小川港所属の棒受網漁船は月を通じてたもすくい漁業主体で操業し、漁場は上中旬は利島及びひょうたん瀬、下旬は利島及び大島千波に形成された。水揚量はマサバ13 トン（前年同月比42%）、ゴマサバ25 トン（前年同月比22%）であり、1 隻当たり水揚量はマサバ1.0 トン（前年同月比59%）、ゴマサバ1.9 トン（前年同月比30%）であった。

平均単価は、マサバは160 円/kg と前月（167 円/kg）並で、前年同月（130 円/kg）を大きく上回った。ゴマサバは201 円/kg と前月（168 円/kg）、前年同月（165 円/kg）を共に大きく上回った。

漁獲物の体長組成は、マサバは32cm、ゴマサバは34cm にモードを持つ単峰型を示した。

小川港 さば類（たもすくい・棒受網漁業）水揚量									
期 間	水揚量(トン)		水揚 日数	水揚 隻数	水揚/隻(トン)		平均単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R7 年5月上旬	12	13	3	5	2.4	2.6	156	189	利島、ひょうたん瀬
中旬	1	3	3	4	0.2	0.7	244	245	利島、ひょうたん瀬
下旬	0	9	2	4	0.0	2.1	198	206	利島、大島千波
R7 年 5 月計	13	25	8	13	1.0	1.9	160	201	利島、ひょうたん瀬、大島千波
R6 年 5 月計	31	116	9	18	1.7	6.4	130	165	大島千波、利島、ひょうたん瀬
R5 年 5 月計	7	357	14	26	0.3	13.7	153	170	大島千波、利島

＊水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため、月計と一致しないことがある。

【サクラエビ船曳網】

5 月の出漁日数は10 日、水揚量は114.7 トンであった（前年同月の出漁日数は5 日、水揚量は93.6 トン）。主漁場は沼津沖～田子の浦、由比沖であった。漁獲されたサクラエビの体長組成は39mm にモードがあった。

サクラエビ水揚量			
期 間	水揚量(トン)	日 数	漁 場
R7 年5月上旬	38.7	2	由比沖
中旬	41.5	4	沼津沖～田子の浦沖
下旬	34.4	4	富士川沖～由比沖
R7 年5 月 計	114.7	10	－
R6 年5 月 計	93.6	5	戸田沖、田子の浦沖～由比沖
R5 年5 月 計	111.3	9	田子の浦沖～由比沖
R4 年5 月 計	158.2	13	富士川沖～興津川沖

＊水揚量については、旬ごとに四捨五入しているため、月計と一致しないことがある。

【シラス船曳網】

県内7 港における1 日1 か統当たりの水揚量は、遠州灘（新居、舞阪、福田、御前崎）が148kg、駿河湾（吉田、用宗、由比）が41kg であった。平均水揚量は136kg で前年同月（235kg）の58%、平年同月（過去5 か年平均：313kg）の43%であった。また、総水揚量は83.1 トンで前年同月（398 トン）の21%、平年同月（640 トン）の13%で前年及び平年同月を大きく下回った。平均単価は1,870 円/kg で前年同月（1,239 円/kg）の1.5 倍、平年同月（1,003 円/kg）の1.9 倍で、前年同月、平年同月を大きく上回った。

＊平年：過去5 か年（令和2 年～令和6 年）の平均値

7 港のシラス水揚量						
漁 港		水揚量(トン)	延日数	延統数	平均水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)
遠州灘	新 居	12.3	9	100	123	1,875
	舞 阪	45.8	9	309	148	1,854
	福 田	19.9	8	120	166	1,778
	御前崎	2.3	3	13	173	2,142
駿河湾	吉 田	2.5	3	53	48	2,513
	用 宗	0.3	3	16	21	2,726
	由 比	0.0	0	0	－	－
R7 年 5 月計		83.1	35	611	136	1,870
R6 年 5 月計		398.4	80	1,697	235	1,239
R5 年 5 月計		413.2	87	1,921	215	1,686

＊各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

【まき網（いわし類）】

マイワシの水揚量は、小川港では3.6 トン（前年同月比7.7%、平年同月比2.1%）、沼津港では35 トン（前年同月比1.2 倍、平年同月比9.8%）、伊東港、静浦港では水揚げがなかった。カタクチイワシは沼津港では0.9 トン（前年同月水揚げなし、平年同月比4.3%）、小川港では0.002 トン（前年同月比1.2%、平年同月比0.03%）、静浦港、伊東港では水揚げがなかった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7 か統の水揚量は、マイワシは11 トン、カタクチイワシは6.8 トンであった。

＊平年：過去5 か年（令和2 年～令和6 年）の平均値

【調査船駿河丸の動向】

5 月 7 日	～	5 月 8 日	地先定線観測調査	(2 日間)
5 月 12 日	～	5 月 15 日	カツオ魚群分布調査	(4 日間)
5 月 19 日			水質調査	(1 日間)
5 月 21 日	～	5 月 23 日	いわし類卵稚仔分布調査	(3 日間)
5 月 26 日	～	5 月 27 日	サクラエビ卵幼生調査	(2 日間)
5 月 29 日			計量魚探校正	(1 日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ

トップページ…………… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

海洋情報のページ……… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/O1ocean/>

右のQRコードから、人工衛星による観測情報、県内沿岸水温情報、関東・東海海況速報等を見ることができます。

